

【幹事】 大分県 生活環境部 うつくし作戦推進課

【参加県】 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、山口県

目的

住民に対する地球温暖化防止の普及啓発活動を各県共同で広域的に実施することにより、その効果を広範囲に広げる。

これまでの取組内容・成果

平成20年度より、九州・山口各県と経済界が連携し、住民に対する「地球温暖化防止」の普及啓発活動を広域的に実施している。

【主な活動内容】

- 企業等への地球温暖化対策の取組要請を、九州地方知事会長と経済団体4団体との連名で実施。
- 統一キャンペーン用ポスターを作成。
- 統一キャンペーンの参加事業所や、家庭と事業所における省エネの取組の優良事例を九州地方知事会及び各県のホームページで公開。
- 統一キャンペーン用の標語ポスターを作成、配付。
- 経済団体と共同で環境学習体験プログラム集を作成。
- 家庭でのCO2削減行動にインセンティブを付与する
「九州版炭素マイレージ制度」の実施。(沖縄県、山口県を除く。)
→R3.4月エコふぁみへ移行
- 省エネ・省資源などの活動に応じてポイントが貯まる九州7県公式環境アプリ
「九州エコファミリー応援アプリ(エコふぁみ)」を開発。(沖縄県、山口県を除く。)



これまでの課題・今後の取組

<地球温暖化防止活動の課題>

人口減少や少子高齢化が課題となる中、住民に地球温暖化の現状やその対策の必要性を伝える人材も高齢化が進んでいるが、2050年カーボンニュートラル実現のためには、まさに今後30年間の社会を担っていく若い世代が取組の主体になることが重要。

<今後の取組>

- ・若い世代の知識やエネルギーを活用するための方策を研究し、より効果的な地球温暖化対策を図る。
(そのための効果的な取組を政策連合として検討したい。)

※大分県のR4取組案

- 学生地球温暖化防止活動推進員制度創設(任意制度)
養成研修の実施、SNS等を活用したネットワーク構築支援等
- 大分県学生気候変動フォーラム開催
学生相互を結ぶオンライン会議(R4年秋頃)